

## 東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会 第１回審議会の開催状況について

### １ 第１回審議会の開催状況

令和４年４月１９日（火）午後３時より、第１回審議会を開催した。

#### 《次 第》

- １ 教育長挨拶
- ２ 委嘱状交付
- ３ 委員紹介

委員に対して委嘱状を交付し、事務局より委員の紹介を行った。

※別紙１：審議会資料１「東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会委員名簿」

- ４ 会長・副会長の選出

会長（委員の互選）及び副会長（会長の指名）を以下のとおり選出した。

会 長：天笠 茂氏（千葉大学教育学部 名誉教授）

副会長：小林 福太郎氏（東京女子体育大学 教授）

- ５ 諮問

教育長が諮問文を読み上げ、会長へ交付した。

※別紙２：審議会資料３「諮問文（写）」

#### 【第１回会議の開会】

- １ 諮問内容について

諮問内容について会議資料のとおり説明した。

※別紙３：審議会資料４「諮問内容について」

- ２ 審議期間について

審議会スケジュール等について会議資料のとおり説明した。

※別紙４：審議会資料５-別紙「東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会スケジュール等」

- ３ 協議事項

- （１） 審議会の呼称について
- （２） 審議の進め方及び小委員会について

（１）事務局より審議会の呼称を提案し、承認された。

審議会呼称：いたばし魅力ある学校づくり審議会

（２）小委員会の設置を決定し、小委員会委員（会長の指名）を会長の指名により選出した。※委員は次ページのとおり

小委員会委員：

- 小林 福太郎氏（東京女子体育大学 教授）
- 倉斗 綾子氏（千葉工業大学創造工学部デザイン科学科 准教授）
- 緑川 有紀氏（板橋区青少年委員会 会計）
- 小宮 慶之氏（板橋区立小学校 PTA 連合会 副会長）
- 横川 隆之氏（板橋区立中学校 PTA 連合会 会長）
- 中川 修一（板橋区教育委員会教育長）
- 中川 久亨（板橋区立桜川小学校 校長）
- 伊藤 聡（板橋区立板橋第一中学校 校長）

#### 4 報告事項

- (1) 平成 24 年審議会答申
- (2) いたばし魅力ある学校づくりプラン  
概要・進捗経過(まとめ)について
- (3) 板橋区立学校の概況
- (4) いたばし学び支援プラン 2025

事務局より各資料について説明・報告をした。(資料省略)

#### 5 その他

事務局より次回審議会の日程を案内した。

## 2 次回審議会の予定

令和 4 年 6 月 23 日の開催を予定している。

## 3 その他

次回以降の教育委員会においては、本審議会の名称に呼称を使用する。

## 東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会委員名簿

令和 4 年 4 月 1 9 日現在

NO	区分	氏名	フリガナ	所属・役職
1	学識経験者	天笠 茂	アマガサ シゲル	千葉大学教育学部 名誉教授
2		小林 福太郎	コバヤシ フクタロウ	東京女子体育大学 教授
3		倉斗 綾子	クラカズ リョウコ	千葉工業大学創造工学部デザイン科学科 准教授
4		斎尾 直子	サイオ ナオコ	東京工業大学環境・社会理工学院建築学系 准教授
5		松波 紀幸	マツナミ ノリユキ	帝京大学教職センター教育学部初等教育学科 准教授
6	区議会議員	坂本 あずまお	サカモト アズマオ	板橋区議会 議長
7		小林 おとみ	コバヤシ オトミ	板橋区議会 文教児童委員長
8	区民委員	露木 保文	ツユキ ヤスフミ	板橋区町会連合会 副会長
9		古谷 茂	フルタニ シゲル	板橋区青少年健全育成地区委員会連合会 会長
10		緑川 有紀	ミドリカワ ユキ	板橋区青少年委員会 会計
11		小宮 慶之	コミヤ ヨシユキ	板橋区立小学校PTA連合会 副会長
12		横川 隆之	ヨコカワ タカユキ	板橋区立中学校PTA連合会 会長
13		木村 縁理	キムラ ユカリ	区民公募
14		田邊 和子	タナベ カズコ	区民公募
15	区職員	橋本 正彦	ハシモト マサヒコ	板橋区副区長
16		中川 修一	ナカガワ シュウイチ	板橋区教育委員会教育長
17	区立学校教職員	中川 久亨	ナカガワ ヒサミチ	板橋区立桜川小学校 校長
18		伊藤 聡	イトウ サトシ	板橋区立板橋第一中学校 校長

(写)

4 板教新学第 5 3 号

令和 4 年 4 月 1 9 日

東京都板橋区立学校適正規模  
及び適正配置審議会 様

東京都板橋区教育委員会

東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置等について（諮問）

東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会条例第 2 条第 1 項の規定に基づき下記のとおり諮問します。

記

- 1 東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置の基本的考え方について
- 2 東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置の具体的方策について
- 3 新たな学びを踏まえた持続可能な学校施設整備の基本的考え方について

（諮問理由）

平成 2 4 年 3 月の審議会答申から 1 0 年が経過し、GIGA スクール構想の実現に伴う一人一台端末の導入、小学校における 3 5 人学級編制の実施、小中一貫教育の推進、一部地域における大規模集合住宅の建設や「まちづくり」の進行による一時的な児童・生徒数の増加をはじめ、区立学校を取り巻く状況は変化している。

子どもたちのための持続可能な教育環境の整備と学校教育の充実のために、板橋区立学校の適正規模及び適正配置のあり方や「いたばし魅力ある学校づくりプラン」後期計画の策定に向けて、区が今後取るべき方向性の基本的な考え方及び具体的方策について、様々な立場の方に十分な協議を重ねていただく必要がある。

諮問事項		
	項目	内容
1	適正規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和における教育上望ましい学校規模、学級規模の人数及び根拠について</li> <li>少子化社会を見据えた、学校の適正規模の考え方及び対応方法について</li> </ul>
2	適正配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化社会を見据えた、学校の適正配置の考え方及び対応方法について</li> </ul>
3	適正規模化の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模校化、小規模校化の解消に向けた、対応の考え方、手段について</li> </ul>
4	通学区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学区域設定の目的と優先順位、学びのエリアの小中学校の整合を取る手法について</li> </ul>
5	小中一貫型学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫教育推進の観点から、施設一体の小中一貫型学校の教育的効果について</li> <li>施設一体の小中一貫型学校として相応しい条件・考え方、配置のあり方について</li> </ul>
6	地域協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との協議の進め方について</li> </ul>

課題認識	
項目	内容
適正規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模校への効果的な対応が必要である。</li> <li>1 学級あたりの適正人数の根拠を再確認する。</li> <li>1 学級あたりの人数の適正化が困難である。</li> </ul>
大規模集合住宅対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的な児童・生徒数の増加により、一時的に適正規模を超えるものの、将来的には適正規模内に収まる予測の中での対応が求められている。</li> <li>将来学校施設としての機能が不要となる可能性がある中での、施設整備の対応策の検討が必要である。</li> <li>一時的な学校規模の大規模化に対応するのかなど、適正規模の考え方について整理する必要がある。</li> </ul>
大規模校化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模校化の解消にむけた有効な手段を検討する。</li> <li>大規模校の周辺も大規模校のため、通学区域変更による適正化は困難であり、増築のための校地や新たな学校用地の確保も困難である。</li> </ul>
通学区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学区域設定の目的と優先順位を明確化する必要がある。</li> <li>通学距離の制限もあるため、学びのエリアと小中学校の通学区域の整合を取ることが難しい。</li> <li>町会境界との整合性を含め、地域と学校の関りについて整理する必要がある。</li> </ul>
小中一貫型学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫教育の推進の観点から、施設一体の小中一貫型学校の果たす役割、意義、目的、メリットなどを明確化する必要がある。</li> <li>施設一体の小中一貫型学校になりえる学校及び配置に関する基本的な考え方の整理が必要である。</li> </ul>
地域協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 校改築するまでに 8 年間に要しており、今後複数の学校施設が老朽化を迎える中で、円滑な教育環境の整備を行うことが難しい。</li> <li>地域住民の協力を得ているが、協議期間が長期にわたるなどの負担を考慮する必要がある。</li> </ul>
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び舎としての機能だけでなく、地域コミュニティの核となる施設及び防災拠点の機能も求められている。</li> <li>学校と地域が共用する諸室の考え方が必要である。</li> <li>地域連携、防災拠点を踏まえた配置の考え方が必要である。</li> </ul>
施設更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の更新需要に追いつかない。</li> <li>児童・生徒数と学校数のバランスについて考える必要がある。</li> <li>改築時の高層化について整理する必要がある。</li> </ul>

## 東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会スケジュール等

### １ 開催予定

概ね２か月に１回の割合で１４回程度を予定

(１) 第１回（本日）

委嘱、会長・副会長の選任、諮問等

(２) 第２回から第８回まで

各諮問事項について審議

(３) 第９回から第１３回まで

答申案の検討（中間のまとめ）

(４) パブリックコメントの募集

(５) 第１４回

答申（令和６年６月予定）

※ 現時点の案であり、議題等は変更となる場合があります。

### ２ 審議会の運営について

(１) 審議会の公開

① 審議会は原則公開とし、傍聴については、別で定める傍聴要領による。ただし、審議会条例施行規則第４条の規定のとおり、審議会に諮り、出席委員の３分の２以上の賛成により公開しない取り扱いとすることができる。

② 審議会の開催については、区ホームページ等により周知する。

(２) 会議録

① 記載内容は、開催日時、場所、出席委員、報告の要旨、審議の要旨、資料、その他とする。

② 公開を原則とする。ただし、委員の発言については発言者の氏名を表記しない（「委員」として記録する。）。

③ 会議録は、次回開催までに各委員へ送付し、審議当日に内容の確認を行う。

④ 区ホームページへの公開を原則とし、公開は委員の確認後に行う。

### ３ 小委員会の運営について（小委員会を設置する場合）

(１) 開催は、定足数を特に定めず、委員長の判断によるものとする。

(２) 小委員会は公開しない。

(３) 検討結果は、会長に報告するほか、直近の審議会でも報告する。